

令和5年度 第3回 鉄道車両譲受検討委員会 議事要旨

- 【日 時】 令和5年11月17日（金） 14:00～16:00
【場 所】 本庁舎 3階 会見室
【議 事】 （1）前回までの内容確認
（2）「夢空間」車両の譲受について
（3）保存・活用について
（4）その他

◆前回までの内容確認

- ・清瀬市立中央公園の再整備計画、鉄道車両設置の経緯を説明。
- ・西武鉄道、JRからの車両譲渡が困難になった経緯を説明。
- ・三井不動産から「夢空間」の譲渡検討の申し出があったことを説明。
- ・前回の委員会で、車両の活用方法、修復、保存について意見交換を行ったことを確認。

◆「夢空間」車両譲受について

- ・児童館等のイベントでの活用（読書会、ピアノ演奏会など）。
- ・観光スポット、シティプロモーションとしての活用。
- ・鉄道車両を文化財として保存（オリジナルの姿を損ねないよう保存）。
- ・「夢空間」を清瀬市の誇りとなるものとして保存。
- ・委員全員が「夢空間」の譲受に賛成。
- ・「夢空間」を清瀬市の宝として後世に引き継ぐという共通認識を確認。

◆保存・活用について

- ・保存と活用は相反する面があるため、バランスを考慮した計画が必要。
- ・車両の保存を前提として、活用方法を検討すべき。
- ・長期的な視点での計画（10年、20年、30年後を見据えた計画）を立てるべき。
- ・将来的に車両を維持できなくなった場合、解体せずに、次の持ち主にバトンタッチできる状態にしておくべき。
- ・まずは歴史的な価値を伝え、中を見学してもらうことから始めるべき。
- ・図書館のイベント（読み聞かせなど）との連携。
- ・撮影に活用。
- ・清瀬市に多くの人々が訪れ、地域経済が活性化することを期待。
- ・グッズ販売、クラウドファンディングなどによる収益確保。
- ・市民が参加できる機会（保存会、ボランティア活動など）を設ける。

- ・車両の劣化、盗難、落書きなどに対する対策を講じる必要がある。
- ・災害時の対応を検討しておく必要がある。
- ・「夢空間」に関する資料を収集し、清瀬市に来れば「夢空間」の全てが分かるといった状態にする。
- ・修復の過程を記録し、博物館で保存する。
- ・鉄道史学会など専門機関との連携。
- ・類似事例（栗原市など）を参考に、課題や対策を検討。
- ・車両を時々動かす（準動態保存）ことを検討。
- ・クラウドファンディングによる資金調達、参加機会の創出。
- ・ふるさと納税の活用。
- ・著作権、知的財産権に関する調査。
- ・専門業者による搬出・搬入、軌道工事、改修。
- ・改修費用の概算を想定しておく。
- ・オープンスペースの活用方法（雨水貯留施設との関係など）を検討。

◆その他

委員会では、「夢空間」を清瀬市の宝として後世に引き継ぐという共通認識のもと、譲受に賛成する意見で一致した。今後は、今回の議論を踏まえ、清瀬市が「夢空間」を譲り受けるか否か判断し、譲り受ける場合は、具体的な保存・活用方針を策定することが望ましいとの意見があった。

◆次回の予定

次回の委員会は11月27日（月）午後3時から開催予定。